

各種計画等に位置付けられた「生態系ネットワーク」

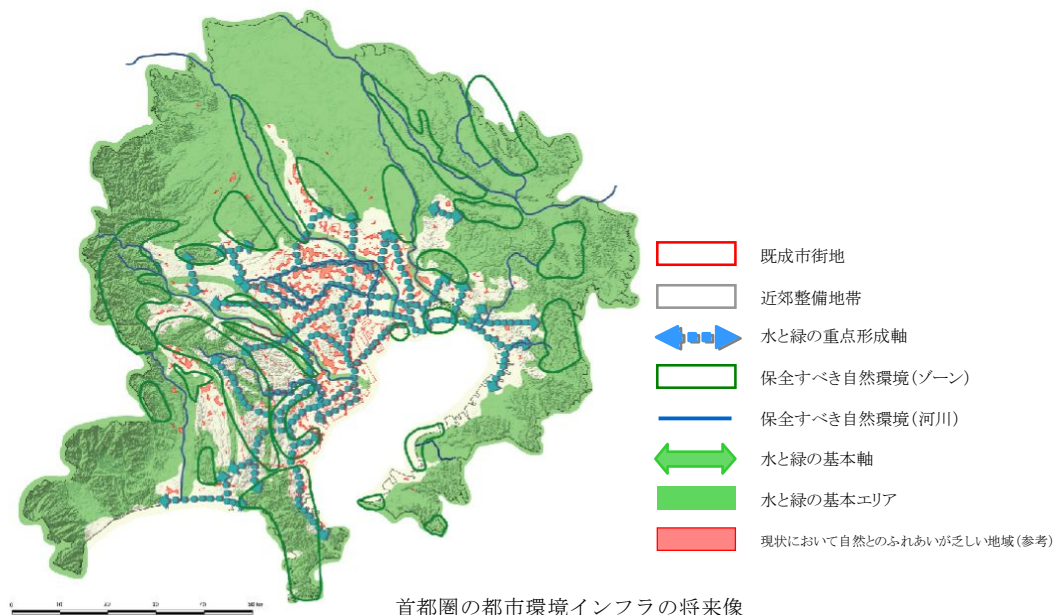
平成 14 年 3 月 新・生物多様性国家戦略

「地域固有の生物相の安定した存続、あるいは減少した生物相の回復を図るためには、十分な規模の保護地域を核としながら、それぞれの生物の生態的特性に応じて、生息・生育空間のつながりや適切な配置が確保された生態的ネットワークを形成していくことが必要」

平成 16 年 3 月 首都圏の都市環境インフラのグランドデザイン ～首都圏に水と緑の生き物の環を～（自然環境の総点検等に関する協議会：都市再生プロジェクト（第 3 次決定）を受けて農林水産省、国土交通省、環境省及び関係都県市により構成）

「現在首都圏に残されている貴重な自然環境の保全はもとより自然環境の再生、創出等による自然環境の連結を含めた首都圏全体の水と緑のネットワークの形成」

< H 18. 8 には近畿圏で同様に策定 >



平成 18 年 4 月 環境基本計画

- ・生息・生育空間の連続性や適切な配置が確保された、国土レベルの生態系ネットワークの形成を推進
- ・国土レベルの生態系ネットワークの形成等にあたっては、特に東アジア等関係の深い地域との関連性も視野に入れる必要

平成 18 年 11 月 国土審議会計画部会中間とりまとめ（国土形成計画）

第 3 計画のねらいと戦略的取組

（4）美しい国土の管理と継承

① 循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成

- ・人と自然の共生を確保していくためには、原始的な地域等の重要地域を核として、生態的なまとまりを考慮した上で、生態系のネットワーク（エコロジカル・ネットワーク）の形成を通じ自然の保全・再生を図ることが重要
- ・全国レベルでの検討とともに、広域ブロック程度の広がりをもったエコロジカル・ネットワークの検討を進めるべき

○国土形成計画（全国計画及び広域地方計画）の策定スケジュール

H18.11	計画部会中間とりまとめ
H19 中頃までを目途	全国計画閣議決定
全国計画策定後、1 年後	広域地方計画の決定

「計画部会中間とりまとめ」の構成図

第1 時代の潮流と国土政策上の課題

(1) 経済社会情勢の大転換

- ①本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化
- ②グローバル化の進展と東アジアの経済発展
- ③情報通信技術の発達

(2) 国民の価値観の変化・多様化

- ①安全・安心、環境や美しさ、文化に対する国民意識の高まり
(その背景としての自然災害の激甚化、地球環境問題等)
- ②ライフスタイルの多様化、「公」の役割を果たす主体の成長

(3) 国土をめぐる状況

- ①一極一軸型国土構造の現状 (引き続く東京・太平洋ベルトへの集中、新たな成長戦略の必要性)
- ②地域の自立に向けた環境の進展 (東アジア地域との直接交流機会の増大等)、都道府県を越える広域的課題の増加
- ③人口減少等を踏まえた人と国土のあり方の再構築の必要性 (国土のひずみの解消と質の向上、日本ブランドの国土)

第2 新しい国土像

(1) 国土構造構築の方向性

- ・各広域ブロックが、東アジア各地域との競争・連携も視野に入れつつ、地域資源を活かした特色ある地域戦略を描き、東京に過度に依存しない自立的な圏域を形成
- ・これらのブロックが相互に交流・連携することで活力ある国土を形成
- ・国土のひずみの解消・質の向上を図り、安全で美しい国土を再構築
↓
(多様な広域ブロックが自立的に発展する国土)
- ・ブロック内では、成長エンジンとなる都市及び産業を強化、各地域が多様な地域特性を発揮するとともに、生活圏域を形成
↓
- ・このような国土構造の構築により、「国としての厚み」を増し、これからの時代にふさわしい国土の均衡ある発展の実現

(2) 広域ブロックの自立促進に向けた支援

- ・広域地方計画による独自の戦略策定のための課題の提示等
- ・官民による地域戦略を支え実現するための支援、知恵と工夫の競争のための環境整備など、国としての支援の枠組みの検討
- ・地理的・自然的・社会的条件による不利性の大きな地域への後押し

第3 計画のねらいと戦略的取組

(グローバル化や人口減少に対応する国土の形成)

(1) シームレスアジアの実現

- ①東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化
集積を活かした新産業創出 / 科学技術によるイノベーション / ものづくり基盤の強化 等
- ②東アジアの交流・連携の推進
共通の問題解決プラットフォームの構築 / 観光立国の推進 / 人材育成・交流 等
- ③シームレスアジアを支える国土基盤の形成
東アジアにおける日帰りビジネス圏、貨物翌日配達圏、ブロードバンド環境の形成 等

(2) 持続可能な地域の形成

- ①持続可能で暮らしやすい都市圏の形成
集約型都市構造への転換 / 市町村を越えた広域的な対応 等
- ②地域資源を活かした産業の活性化
地域の特色を集めた産業展開 / 大学等を核とした新産業創出 / 地域のブランド力育成 等
- ③美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開
多様な魅力や有形無形の価値の活用 / 農林水産業の競争力強化 等
- ④地域への人の誘致・移動、地域間の交流・連携の促進
二地域居住の促進 / 仲介機能を有する情報プラットフォームの整備 等

(安全で美しい国土の再構築と継承)

(3) 災害に強いしなやかな国土の形成

- ①減災の観点も重視した災害対策の推進
既存施設の改良も含めた耐震性強化 / 災害の予防・応急対策実施に向け事前・事中・事後システム構築 等
- ②災害に強い国土構造へのリノベーション
国土利用の誘導 / 中枢機能の相互補完・代替性の強化 / 交通・情報通信網の余裕性の確保 等

(4) 美しい国土の管理と継承

- ①循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成
循環資源物流システムの構築 / 広域的なエコネットの形成 等
- ②流域圏における国土利用と水循環系の管理
健全な水循環系の構築 / 総合的な土砂管理の推進 等
- ③「国土の国民的経営」に向けた取組への展開
国民一人一人が国土の管理と継承の一翼を担う取組の推進 等
- ④海洋・沿岸域の総合的な利用・保全
政府一体となった取組 / 離島の振興 / 沿岸域圏の管理 等

(5) 「新たな公」による地域づくり(横断的視点)

- ①「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム
中間的な支援組織の育成 / 参加を容易にするための仕組み 等
- ②多様な主体による国土基盤マネジメント
道路、河川、港湾などの身近な国土基盤のマネジメントへの国民の参画 等
- ③多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり
文化等の地域資源の活用 / 外部の専門的人材等担い手の確保 / 知恵と工夫の競争の環境整備 等

第4 計画の実現に向けて

(1) 国土基盤投資の方向性 (2) 国土情報の整備・利活用と計画のモニタリング (3) 計画関連諸制度の点検等

第5 国土利用計画の策定